【参考資料】

■直轄河川災害復旧事業とは

　直轄河川災害復旧事業とは､国土交通省が直轄で管理する河川の区間内などにおいて、暴風、洪水、高潮、地震、その他の異常な天然現象により被災した施設を、原形に復旧するものです。

■直轄河川災害関連緊急事業とは

　直轄河川災害関連緊急事業とは、上記直轄河川災害復旧事業のみでは再度災害防止に十分な効果が期待出来ない場合に、これと合併して実施する改良工事のことです。

■採択箇所（被災箇所）位置図



■出水概要

　最上川流域における今回の降雨は、月山から朝日岳、飯豊山にかけての朝日山地周辺での降水量が多く、主な地点では白鷹町白鷹１２０mm、西川町日暮沢１０８mm、飯豊町椿１０５mm、長井市小出１０３mmなどを記録しました。

　これに伴い最上川水系の河川では、長井市から舟形町にかけての複数の水位観測所にて「氾濫、災害発生の恐れがあり、水防団が活動を始める」水位である「はん濫注意水位（警戒水位）」を超過しました。


最上川　出水状況
寒河江市　高瀬橋上流
平成19年6月29日17時頃撮影


置賜白川　出水状況
長井市　白川鉄道橋下流
平成19年6月29日15時頃撮影

■主な被災状況（長井市）


最上川　被災状況
河岸が洗掘され　高水敷が流出　堤防に接近


置賜白川　被災状況
河岸が洗掘され　既設河岸保護工が崩落・流出